

2011年司法制度研究集会に向けて 第3回 プレシンプのご案内

日民協は、本年創立50周年を迎えます。創立50周年の祝賀の集いを今秋9月30日に開催、翌日の10月1日には、第42回司法制度研究集会を（東京・四谷・プラザエフ）にて開催を予定しています。数回のプレシンプでの討論を積み重ね、その成果の上に、新たに「司法改革提言」を提起したいと考えております。

第1回のプレシンプは、「司法官僚 裁判所の権力者たち」（岩波新書）を著された新藤宗幸千葉大教授のお話と高見澤昭治弁護士の報告を受けて、旭川や名古屋からの参加者による貴重な質疑応答、意見交換がありました（『法と民主主義』No.457に掲載）。

第2回のプレシンプは、神戸大学名誉教授の浦部法穂先生に、最高裁判決を中心に下級審判例も視野においた基調報告とともに、いくつかの事件弁護団（ピラ配布事件／日の丸君が代強制事件など）からの報告が行われました（『法と民主主義』No.459に掲載予定）。

第1回が「司法行政部門」からのアプローチであったのに対して、第2回シンポジウムは、「裁判部門」の具体的裁判例からのアプローチです。

第3回目は、法の担い手に焦点をあてた「これからの法の担い手をどう育てるか」と題し、それぞれの立場から、現状への詳細な報告のなかから明らかになった問題点の、真の解決の方向性を見いだすための議論に深めたいと考えております。是非多くの方のご参加をお待ちしております。

■ 第3回プレシンプ ■

日時◆2011年 **7月29日(金)** 午後2時～5時

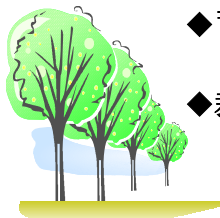
場所◆東京・麹町・弘済会館／楓の間

参加費◆500円（資料代として）

テーマ  **これからの「法の担い手」をどう育てるか**

報 告

- ◆司法改革と大学改革—何をそこにみるか
報告者・広渡清吾先生（専修大学教授）
- ◆『担い手』の養成～弁護士会の取組みと課題
報告者・丸島俊介先生（弁護士）
- ◆司法修習生と若手弁護士の状況
報告者・笹山尚人先生（弁護士）
- ◆裁判所の現場から
報告者・森田和幸氏（全司法労働組合書記長）



◆ 予 告 ◆

—日民協・第42回司法制度研究集会—

「司法改革」10年

—司法は国民のために役割を果たしているか？

日時■2011年10月1日(土)

10時30分開始／16時30分終了予定

場所■東京・四谷・プラザエフ

日 本 民 主 法 律 家 協 会

東京都新宿区新宿1-14-4 AMビル2階

電 話 03-5367-5430

FAX 03-5367-5431

メール info@jdla.jp

URL http://www.jdla.jp/